

# 街のふるまいものさし

人はまちの中で、足をかけたり、腰を下ろしたり、ふっとよりかかったりしている。そんな、気づかないうちにしてしまう身体の動きをひろい集め、街路の中にそっと置いてみる。ここにあるモノは、使われてはじめて意味をもつ。だれかが触れ、立ち止まり、身をあずけることで、その日の風景が、少しずつ立ち上がってゆく。





